

人の間にいるからこそ、人間らしく生きられる。

「人間関係が煩わしい」

ニートが、社会を拒絶する理由の1つです。

「人付き合いが苦手」「傷つくのが怖い」「気を使うのが面倒」と思うでしょう。



たしかに人間関係に入れば、煩わしいこともあります。

人付き合いにはマナーが必要ですし、人目を気にすることでストレスも増えるでしょう。

時には、不快な一言を言われるかもしれません。

だからとはいえ、人間関係を絶つのはよくありません。

人間が人間を避けると、人間らしくなくなります。

「人」の「間」にいるから「人間」です。

人間が、人間らしく生きるためには、人の間に入らないといけません。

人の間に入れば、当然嫌なこともあるでしょう。

挨拶をしなければいけませんし、気遣いも必要です。

相手の都合を考えなければいけないときもあります。

相手の不快な発言に我慢しなければいけないときもあるでしょう。

そういうことがあるから、人間らしい生活が送れるのです。

嬉しいことだけでなく、嫌なこともすべて含めて、人間関係です。

人間関係は、拒絶するより、受け入れましょう。

人間関係の最大のコツは、相手にも自分にも、完璧を求めないことです。

お互いに不完全ですから、時には嫌なこともあります。

嫌なことは深く考えすぎず、さらりと流しましょう。

嫌なこともあってこそ、人間らしく生きられます。

やる気が出ないニートを励ます言葉 その27

人間らしくなるために、人の間に入る。